



2025年1月度全国法定伝染病情報

国家疾病予防控制局

www.ndcpa.gov.cn 2025-02-14

来源： 监测预警司

2025年1月(1月01日00:00~1月31日24:00)内の、全国(台湾香港マカオは含まず、以下同)の法定伝染病例は3,382,111例(宮本注: 前月は1,994,023例; 1,388,088人増)、死亡者数は1,701例(前月は2,867例; 1,166例減に転)であった。

うち、

A(甲)類伝染病では発症・死亡ともに0例。

B(乙)類伝染病では、発症325,937例(前月は295,592例: 30,345例増に転)、死亡1,691例(前月は2,857例: 1,166例減に転)が報告されている。うちSARSやポリオ、ヒト感染高病原性鳥インフルエンザ、ジフテリア、新生児破傷風、住血吸虫症とH7N9型鳥インフルエンザでは発症・死亡例なし。報告されている発症データの病種ワースト5は、ウイルス性肝炎、肺結核、梅毒、COVID-19および淋病(百日咳がランク外に、COVID-19が第4位にランクイン)で、B類伝染病報告総数の93.5%を占めていた。

同期、C(丙)類伝染病では、発症数は3,056,174例(前月は1,698,431例、1,357,743例増)、死亡は10例(前月は10例で増減なし)であった。発症データの3位までの病種は、インフルエンザ、その他感染性下痢症と手足口病(3か月連続の同種、同順)であり、C(丙)類伝染病報告総数の99.8%を占めていた。

<<COVID-19>>

この欄は「2025年分から削除する」と先月宣言したばかりですが、なんと今月から復活したようです(もしかして今月だけかもしれないので、来月の発表をみるまでは安心できませんが。。)

(H7N9 鳥インフルエンザ患者と死亡者について:

1. 国家衛生計生委発表の2017年度月報上では、12か月間累計発症者数は、646人(死者数は269人)となりましたが、年度報告では発症589人、死亡259人と、それぞれに57人、10人の発症者・死亡者が消し去られていました。(こういう場合、WHOへの通報はどうするのでしょうか。恥ずかしいけどこんなに間違いがありましたと訂正を依頼できるのでしょうか。)
2. 不思議なことに、2017年10月以後は、散発的に患者が出ていたが、第6の波と呼べるものがまだ表れていません。2018年2月以後は発症ゼロ、3月に一名死亡以後ゼロ行進。2019年は4月に内モンゴルと甘肅省境で患者1名が出たが、それ以外はゼロ行進が続いている。2025年1月も発症・死亡ともに『ゼロ』。
3. 2023年4月5日に内モンゴル自治区(内モンゴル自治区アルシャー盟エジン旗達来呼布(ダライコボ)鎮)で82歳男性感染者が見つかったため、その数字が反映されています(誤診ではなかったようです!)。2018年2月以後の患者発生が報じられていないため、2023年4月の死亡者も同じ人だと推量可能です。
4. 2018年に入ってから、1月の月報上で1名(新疆で発見、香港が発表)。そして、2月は1人発症1人死亡と発表。2月11日に中山市での患者発生が報じられている(しているのですが3月の死亡者1人というのがこの患者の死亡を表しているとするれば、1~5月までの累計で2名が発症、2名が死亡のままですが、5月に、『広東省本年初の患者が回復、まもなく退院(<https://wp.me/p66EIr-2RJ>)』という報道があったため、これが中山市の患者であることは明白、つまり、2名の本年死亡者中の「1名」は、確実に2017年の患者であることがわかりました。
5. 中国政府の活動の一つに、動物のサンプル調査で陽性反応が出た場合に、活禽市場を暫時閉鎖するというものがあり、これが『活禽への直接暴露機会』を減らしているのかもしれない。また、浙江省杭州市では、すでに市内での活禽交易市场は永久閉鎖されていますが、本当にこれだけで、第五波の数百人が第六波を起こすことなくほぼゼロになるのか、、、少し『楽観し過ぎ』かもしれません。
6. 現時点で未陥落の省は、青海省、寧夏回族自治区と黒竜江省の3省のみですが、黒竜江省では鳥間の集団発生が見られていないので、次の冬~春季に患者が出てくるという考え方を排除できません。
7. 浙江省、江蘇省、湖南、湖北省、北京市に続き、安徽省も患者のタイムリーな発表を意図的に隠し続けている様ですが、四川省アバ自治州若爾蓋などは刻々と変わる発生の状況をタイムリーに伝えており、これにより『デマ』に惑わされないようにとの工夫をしています。8月になって湖南省CDCは単発患者1名を発表していますので、隠蔽体質の省から外せるかもしれません。もう少し様子見が必要。
8. 2017年1月からのFluTrackersとの情報交換共同作業をする中で、1625号患者(06月15日発表)まで追いかけることができました(7月に中側からFAOに発表された12人と、12月19日にFAOが発表した累計患者数“1621人”との差20人、それに2月28日のFAO“発表1625”人との差についてはいまだに詳細を確認することができずにいます)。WHOへの報告主体である衛計委とFAOへの報告主体農業部の間でも同国内なのに整合性もなく、また、2017年年報を発表した衛計委自体も患者数を突然

57 人減じている(死者数も 10 人減!)事実がありますが、衛計委が WHO に「この患者とこの患者は誤報でした」という通知していない??? FluTrackers によると、『必ずしもすべての数字が WHO に報告されていない恐れがある』とされています。実際、FluTrackers は、NHFPIC や省・市の HFPC や HFPB、それに香港 CHP の正式発表をもとに重複排除しており、中国政府当局の作為的な操作があるのかは別にして、乖離があります。中国当局から FAO への通報、これに基づく FAO の発表についても上で述べたように『謎』の部分が出てきています。これらの患者がどうなったのかは、衛生計生委が毎年行っている B 型肝炎患者数や梅毒患者数の操作と同じように『いなかったこと』にされるのかもしれませんが。患者が少なかったことから情報提供も僅か、それでも弊所から FluTrackers への情報提供数は、**2017 年 1 月以来 583 本**になりました(as of Feb. 15, 2025)。

9. 2014 年 1 月に浙江省 HFPC が発表した『**確診患者は日日発表、死亡患者は翌月の月報にて発表**。これが乙類伝染病としての管理だ』という内容の記事を弊研究所サイトにアップしています。『[2014-01-27 浙江省の H7N9 鳥フル患者死亡者数発表に関して](#)』をご参照ください。
10. また、家禽の養殖場(採卵用の養鶏場)での集団発生が、増えていましたが、2019 年 3 月に、遼寧省錦州市で久しぶりの集団発生が報じられ、これで 2017 年から通算 15 件目の集団発生が出た形になりますがそれ以後の発生はゼロ。どうも間隔があきすぎており、H7N9 については、本当に消えているのか、消し去られているのか、、、良く判らなくなってきました。
11. 鳥間での病原性が低病原性から高病原性に変化しているようです(上海復旦大学の研究成果が『ランセット』感染症』に発表されたようです)が、今後の動向に注目必要ですね。
12. 但し、『[2018-04-03 対家禽 H7N9 インフル強制ワクチンの接種実施 河南省](#)』で書かれているように、H7N9 ワクチンを活禽に強制接種されれば、(鳥肉を食用した人体への影響の有無は別にして)鳥類間でのアウトブレイク件数が減るのかもしれませんが。これもまた要ウォッチ事項だねと FluTrackers と話をしています。

⇒See [20250214H 中国衛生当局全国法定伝染病発症死亡統計 \(2025 年 1 月\)](#)

https://www.ndcpa.gov.cn/jbkzxx/c100016/common/content/content_1890318316888248320.html

.....
National Epidemic Situation of Notifiable Infectious Diseases in January 2024

National DCPA www.ndcpa.gov.cn 2025-02-14 Source: Monitoring and Early Warning Department

In January 2025 (0:00 on January 1, to 24:00 on January 31), the country (excluding Hong Kong, Macao Special Administrative Region and Taiwan, the same hereinafter) reported a total of **3,382,111** cases and **1,701** deaths.

In Class A infectious diseases, no cases of illness or death were reported.

In Class B infectious diseases, a total of **325,937** cases and **1,691** deaths were reported. There was no report of incidents and morbidity in SARS (Severe Acute Respiratory Syndrome), poliomyelitis, Human infection with highly pathogenic avian influenza, diphtheria, neonatal tetanus, schistosomiasis and human infection with H7N9 avian influenza. The top five reported cases were viral hepatitis, tuberculosis, syphilis, COVID-19 and gonorrhea; these five diseases account for **93.5%** of the total number of reported cases of Class B infectious diseases.

In the same period, there was no incidence and morbidity report of filariasis in Class C infectious diseases, and **3,056,174** cases and **10** deaths were reported in the remaining **10** kinds of Class C infectious diseases. The top three reported cases were influenza, other infectious diarrhea diseases, and Hand, foot and mouth disease which accounts for **99.8%** of the total number of reported cases of Class C infectious diseases.

.....
.....: 以下は中国語原文 :.....

2025 年 1 月全国法定伝染病疫情概况

国家疾病预防控制中心 www.ndcpa.gov.cn 2025-02-14 来源: 监测预警司

2025 年 1 月 (1 月 1 日 0 时至 1 月 31 日 24 时), 全国 (不含香港、澳门特别行政区和台湾地区, 下同) 共报告法定伝染病 3382111 例, 死亡 1701 人。

甲类伝染病无发病、死亡病例报告。

乙类伝染病共报告发病 325937 例, 死亡 1691 人。伝染性非典型肺炎、脊髓灰质炎、人感染高致病性禽流感、白喉、新生儿破伤风、血吸虫病和人感染 H7N9 禽流感无发病、死亡报告。报告发病数居前 5 位的病种依次为病毒性肝炎、肺结核、梅毒、新型冠状病毒感染和淋病, 占乙类伝染病报告病例总数的 93.5%。

同期，丙类传染病共报告发病 3056174 例，死亡 10 人。报告发病数居前 3 位的病种依次为流行性感
冒、其他感染性腹泻病和手足口病，占丙类传染病报告病例总数的 99.8%。

附件：2025 年 1 月全国法定传染病报告发病、死亡统计表

20250214G 2025 年 1 月度全国法定传染病情报(国家 NDCPA)